



諏訪地域4会場映画上映会

後援: 諏訪市・岡谷市・茅野市・下諏訪町・富士見町・原村
信濃毎日新聞社・長野日報社・市民新聞グループ・LCV

主催者: 諏訪地域上映成功をめざす会
連絡先: 藤森 守 TEL 090-4022-7608

～千代子17歳、高島小学校代用教員時代に親友に宛てた手紙～

「私は近頃、ほんとうに若くありたい、若い時代を若く生きたいと考えるようになりました。」

伊藤千代子は1905年(明治38)7月21日、この諏訪の南真志野の農家に生まれ幼くして母と死別、祖父の援助で諏訪高等女学校(現・諏訪二葉高校)に学び、高島小学校の代用教員の後、東京女子大へとすんだ。

千代子は常に生活に苦しむ人々に心をよせ、世の中の矛盾と不公平さを許せず、積極的に活動した。郷里では初の普通選挙をたたかう革新候補の藤森成吉を支援、岡谷での歴史的大争議・山一林組の製糸工女らを激励し、社会変革の道にすすみ、1928年(昭和3)2月、女性としていち早く日本共産党に入党。

翌月3月15日の治安維持法による野蛮な弾圧で逮捕、市ヶ谷刑務所に投獄される。獄中での狂暴な拷問や虐待にも屈せず同志を励ましたたがいか続けたが、ついに倒れ、1929年(昭和4)9月24日、24歳の若さで短い生涯を閉じた。

戦争と貧困格差に向き合い、ジェンダー平等のために闘った千代子のころさしは今も多くの人々に受け継がれ、生きている。

―諏訪湖を望む伊藤千代子顕彰碑の碑文を基礎に―



共演 竹下景子さん(東京女子大学学長安井てつ夜)
香港の周庭さんにも重なる、自由や平和の大切さを教えてくれる意義ある美しい映画だと思います。

上映日時・会場

開場は30分前です。上映時間は2時間10分です。

- 5月27日(金)午後2時/岡谷 カノラホール 小ホール
- 5月28日(土)午後2時/諏訪市文化センター 大ホール
- 5月29日(日)午前10時・午後2時・6時30分/茅野新星劇場
- 5月30日(月)午後2時・6時30分/下諏訪総合文化センター 小ホール

入場料

一般1000円(学生500円・中学生以下無料)

「4会場共通チケット」でご入場の皆様へ

金券ではありませんので、会場受付にて入場料をお支払い下さい。
チケットをお持ちでなくてもご入場いただけます。